ゴルフ競技における競技力向上のための育成システムに関する一考察

コーチング科学研究領域
5010A082-6 松本　文夫　　研究指導教員：倉石　平　准教授

【第 1 章】　序論

近年，日本人選手と外国人選手の競技力の差が生まれ始めている．日本プロゴルフツアーにおいて男女ともに 2 年連続賞金王が外国人選手であり，2011 年世界ランキング top50 を見ても過去 10 年間で最低の 0 人となった．

その要因として諸外国では一貫指導システムの構築なされており，日本ではスナッグゴルフの普及には力が入れられているが選手の育成には大きな活動はなされていない．先行研究で成績向上と全体的なレベルアップには，ゴルフへの早い取り組みと，そのためのバックアップ体制の充実が肝心であると述べられ，近年の韓国人ゴルファーの成績向上にはナショナルチームを中心として選手強化策の存在があるとするものもあり，一貫指導システムが競技力向上を目指すに当たり，必要不可欠であるとされている．

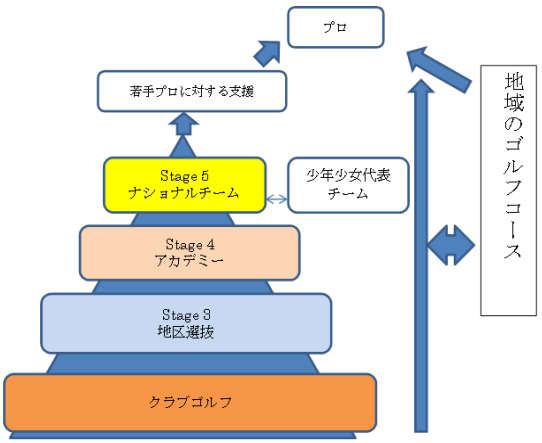
そこで，本研究は，日本における育成システムの現状を把握し，近年活躍が見られるスコットランドとの現状とを比較し，現在，日本における選手育成の課題点を明らかにし，今後の選手育成のあり方を示唆することを目指した．

研究方法：

研究対象として，スコットランドの育成システム「Player Pathway」とミズノゴルフアカデミー（以下 MGA）を対象とした．「Player Pathway」は文献調査を行った．MGA に関しては，実地調査を行い，スタッフ 3 名に対しインタビュー調査を行った．また，選手・保護者を対象にアンケート調査を行い，整理したミズノゴルフアカデミーの現状と選手育成のシステムに関して，考察した．

【第 2 章】　海外における育成システム

スコットランドでは下図のような選手育成システムが構築されていることが明らかになった．スコットランドでは，すべての小学 5 年生に学校体育の一環としてゴルフを導入し，Clubgolf の中で，ゴルフの基礎基本となる技術とルールー，エチケットの習得を行う．その後セレクションが繰り返され，上位のステージに進むほど専門のスタッフとコーチによる指導を得ることができることが明らかになった．

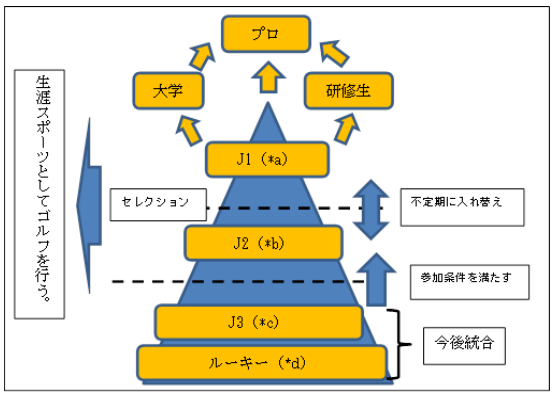


また，国の管理する施設を利用できるようになり，練習環境も格段に上がる．その他，スコットランドスポーツ学会の協力のもと，科学的根拠に基づいた支援を受ける

ことができることが明らかになった．

【第 3 章】インタビュー調査

MGA ではルーキークラスを底辺に J3→J2→J1 というクラス分けとなっている．上位のクラスほど競技力が高く，また指導に関しても，指導回数，指導内容も充実されていくことが明らかになった．上位クラスになるほど個人レッスンが増えそれぞれの



課題に則した指導が行われることが明らかになった．

【第 4 章】アンケート調査

アンケート調査から，選手の目標設定の徹底ぶりが明らかになった．調査対象となった 25 選手がプロという明確な目標を持ち，日々の練習に取り組んでいることが明らかになった．また，全体の 86%となる 25 選手が親は自分の夢を「知っている」「知っていると思う」と回答し，実際に保護者に対するアンケート調査においても，全体の 82%である 24 名の保護者が「子どもの夢を知っている」「目標を知っている」と回答した．その根拠として，子どもと話し合いを持ったと答えた保護者は 23 名であり，選手と保護者の間で，夢や目標の共有がしっかりとされていることが明らかになった．

【第 5 章】考察

スコットランドと MGA では育成システムとして類似点が見られた．選手を競技能力毎にレベル分けし，上位のクラスに入るほどにより専門的なサポートを受けることができるようになる．指導内容では，コーチによる選手の状態や現状の課題に則した指導が受けられるようになり，練習時間も多くなる．

しかし，その一方で MGA において課題点も明らかになった．トレーナーや栄養士などのサポートスタッフが不在であり，総合的なアカデミーとは言い難い．また，スコットランドではアカデミー後のサポート体制が充実している一方, MGA では高校後のサポート体制がないことが明らかになり，アンケートの結果から,「高校後もサポートしてほしい」という回答から，今後の改善点として挙げることができる．

【第 6 章】　結論

本研究を通して，MGA は，選手育成システムとして機能していると言える．しかし，本研究で 3 つの課題点が明らかになった．それぞれの課題点としては，専門知識を持つコーチの育成プログラムの構築，高校卒業後のサポート体制の構築，中央団体との関係の見直しの 3 つである．

MGA の選手育成システムはスコットランドのものと比べ規模は小さいが，指導内容は遜色ないものとなっている．今後，MGA のような練習環境と専門的なコーチの指導を行うアカデミーに，協会が指導者やサポートする各種役割の人的資質が増加することで，より多くの将来性のある選手が育成されるシステムになるのではないかと考える．